

(参考様式4)

事業所名 ふるさと母里 小規模多機能型居宅介護

## 目標達成計画

作成日: 令和 4年 4月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	お互いに声掛けや対応など不適切ケアについて、職員間で問題定義や改善に向けての話し合いは成されているが、改善に繋がれていない事もある。	一人一人の現状の関わりを個人が振り返り(職員)不適切ケアの認識を高めるとともに不適切ケアを行っていないと職員全員が言える。 (外部の方からも同様)	チーム会で毎月、接遇、不適切ケアについて、現状を振り返りチームメンバー全員で話合う。	12ヶ月
2	20	地域資源の把握はお一人お一人把握に至っていないが、小規模だけのサービスでは支えられないケースもあるので、他サービスとの共同が必要。	ご本人様が本当に必要な支援を見える化し、それを職員間、多職種と繋げるようになる	ご本人様から情報を伺い、アセスメントシートに記録を増やす。 どのような資源があるか、把握する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。